

谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月1日（水）

作業場所

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨 27℃

参加者 会 員

参加者

合計 7 名

▼谷津で見つけた昆虫、カミキリムシの一部です。15年位前からの写真です。長い触角と強靱なあごがある甲虫です。白い斑点があるゴマダラカミキリ、赤い色ベニカミキリ、黄色に黒のハナカミキリやトラカミキリなど色々な模様があり、目を楽しませてくれる。
▼しかし、カミキリムシは人間にとっては害虫扱いされている。成虫はミカンやクリ、リンゴやナシなどの果実を食べ、幼虫は生木に穴をあけて弱らせると言われているが、多くの仲間は枯れた木の後始末をする掃除屋です。枯れ木を分解する役目を持っています。
▼クワの木の葉陰に隠れているクワカミキリ、スイカズラではリンゴカミキリ、カラムシにはラミーカミキリなどが見つかる？

今日の作業

- ①草刈り：畔、駐車場、水路の階段など
- ②ヨシ／ササ刈り：谷津入口第二小田んぼ付近の杭／ロープ沿い
- ③ヨシ刈り：小屋前池の吐水口付近

次回の予定

- ①市民公募田んぼの補助
小屋裏、三角田んぼの草取り
- ②畑作業

谷津で見つけたカミキリムシ（数字は撮影月）

リンゴカミキリ
2023.5

キマダラカミキリ
2023.5



キイロトラカミキリ
2021.5



アカハナカミキリ
2015.6



ラミーカミキリ
2017.5



ミヤマカミキリ
2018.6



クワカミキリ
2022.7



ベニカミキリ
2026.7



ヤハズカミキリ
2022.6



ゴマダラカミキリ
2022.7



ヨツスジハナカミキリ
2019.7



ヒメヒゲナガカミキリ
2016.5



ツマグロハナカミキリ
2024.4



ヨツスジトラカミキリ
2020.7

谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月4日（土）

作業場所

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨 27℃

参加者

合計 45名

★今日のキノコ + 6/24のキノコ

オオツルタケ キタマゴタケ
 キツネノチャブクロ
 クサイロハツ ケショウハツ
 コフキサルノコシカケ
 スジウチワタケ ソウメンタケの仲間
 テングタケ と その仲間
 ノウタケ ハナオチバタケ
 ヒメアンスタケ ホウライタケ

▼雨上がりの日、キノコをよく見かける。色が鮮やかな綺麗なキノコには毒があり、素人での判定は無理。
 ▼今日、キノコ検定士の高橋さんが、ホタルアカガエルの里で色々なキノコを見つけた。6/24に見つけたキノコも一緒に、過去に撮影した写真での紹介です。
 ▼オオツルタケ、テングタケには毒があり、腹痛・嘔吐などを起こす。綺麗だと思って触らないように。
 ▼虹色の花を咲かせていたネムノキ、そろそろ終わり。ヤマユリの花は蕾が大分大きくなった。1週間もすれば見頃になるでしょう。

今日の作業

- ①田んぼ作業：田の草取りく市民公募の補助＜小屋裏田、三角田＞
- ②畑 作 業：サトイモ土寄せ、ダイコンの植付準備
サツマイモ畑の草取り
- ③ナガエ除去：作業小屋掲示板脇、四分割田

次回の予定

①田んぼの草取り

★キノコの写真特集

＜写真の誤りあれば、ご容赦ください：平原＞

キノコ鑑定員 高橋さんが今日見つけました 写真は過去に撮影した写真です



谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月日 ()

作業場所



★ホタル調査 我孫子市の環境指標生物

集合場所：湖北台10丁目の谷津入口

出発時間：20時＜所要時間は1時間＞

第一回 7/15(水)

第二回 7/22(水)

谷津ミュージアムの会の案内でのホタル観賞会は7/25(土)です。5組で案内します

案内できる方、最低10名

よろしくお願いします

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨 ℃

参加者

合計 9 名

▼梅雨も明けそうな昨今、初夏になり、作業小屋の前、多自然型水路の斜面や散策路は草ぼうぼう。刈っても刈っても伸び放題。地道な草刈、草集めをする。
▼高校の坂道の斜面にヤマユリが咲きだした。小屋の裏では、ハンゲショウにイヌゴマが咲き乱れている。クサフジも咲きだした。ノウゼンカズラも。
▼7/2の小雨の日、10丁目のコンクリート塀(アオダイショウのマンション)に張りついたナメクジ。殻をつけたカタツムリ、ミスジマイマイはよく見るが、ナメクジの大群は初めて見た。その数100以上。びっくり。写真映えしないので、ナメクジの写真はカットです。

今日の作業

- ①田んぼ作業 : 田の草取り 四分割田、冬水田、小屋裏田
- ②維持管理作業 : 草刈り 小屋周辺、水路保全、ナガ工除去

次回の予定

- ①市民公募田んぼの草取りの補助
- ②畑作業

今日は花特集
初夏の花です
ヤマユリが
咲きだしました

作業小屋前の水路の斜面
草を刈り、集めています
草刈り機で刈り取った後
刈草を集めて運んでいる

イヌゴマは満開

作業小屋の裏では
葉っぱが半分
白くなった
ハンゲショウが
咲いている

大きな花
ヤマユリが
咲きだした

クサフジも
咲いた

ハルジオンは終わり
今咲いているのは
ヒメジョオン

谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月11日（土）

作業場所

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨

29℃

★野鳥観察

参加者

合計 47名

▼市民公募の田の草取りの3回目。次の作業はいよいよ9月の稲刈りとなります。秋の収穫が楽しみです。
▼ホタルの季節到来、15日、22日はホタルの発生数の調査です(10丁目側谷津入口集合、20時)。25日は市民公募の観察会(東我孫子駅南口広場集合、19:30)です。調査日の気象条件にもよるが、去年は189頭。これまで一番多く見られたのは、令和3年の545頭。さて、今年は何頭が舞ってくれるか。注目です。

今日の作業

- ①田んぼ作業：田の草取り 小屋裏田んぼ、三角田んぼ
市民公募、田んぼ作業の補助など
併せて、ナガエの除去
- ②畑 作 業：サトイモ畑の草取り

次回の予定

- ①ホタル調査、観察会に備えて草刈り
ハケノ道、ハンノキ通りなど
- ※7/18が、田んぼの草取りの最終の予定

田の草取り

サトイモ畑で草取り

アオスジアゲハ

キタテハ

ガの仲間：ツマジロエダシャク

カルガモ

コイ

谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月15日（水）

作業場所



★ホタル調査報告 No.1

気象条件：曇、29℃、微風

調査員：会員7名

発生数：70頭(四)

メダカ池周辺：27 H・Aの里：7

私井通りまで：25 G側の右岸：9

イヌザクラ池：2

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨 35℃

参加者

合計 8名

ホタル調査
(20:00-21:00)

塩原 堤 利根川
土肥 平原 松見 山田

参加者

合計 7名

▼作業小屋の温度計は、今年最高35℃。お互い注意しての分散作業。水路のマコモ刈りとか、ビオトープの維持やら、ホタル観察のための散策路の草刈り。少し早めの11自前に作業は終了。

▼夜はホタル調査。例年であれば7月の下旬がホタルの最盛期。温暖化の昨今にて早まる可能性もあるかと、1回目の調査。メダカ池、陽だまり先の湿地では乱舞を観察した。その先のシラカシ付近は、例年沢山のホタルが舞う場所だが、今年はいない。時期が少し早かったようだ。

今日の作業

- ①草刈り：ハケノ道、ハンノキ通りなど
- ②マコモ刈り：作業小屋前の多自然型水路
- ③水路保全：四分割ビオトープなど
- ④ナガエ除去：作業小屋周辺

次回の予定

- ①田の草取り
- ②畑作業

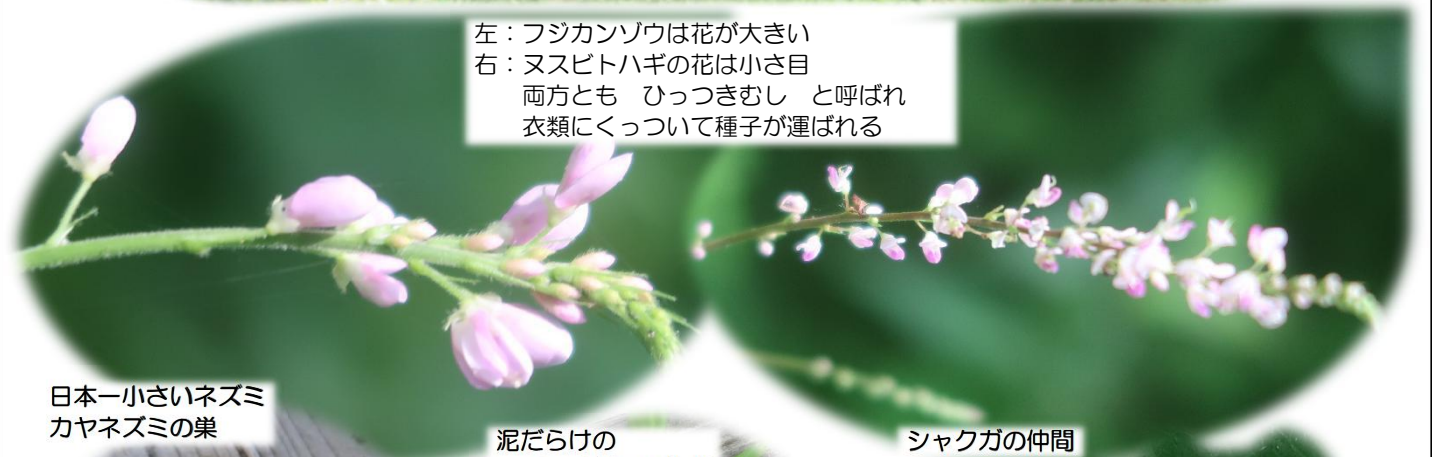
2022. 5月 遮光シート設置



左：フジカンゾウの花が大きい

右：ヌスビトハギの花は小さ目

両方とも ひつつきむし と呼ばれ
衣類にくっついて種子が運ばれる



日本一小さいネズミ
カヤネズミの巣



泥だらけの
ニイニゼミの抜け殻



シャクガの仲間



谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月18日（土）

作業場所

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨 32℃

参加者

合計 12名

★クモ類の背中と腹 クモの背中には派手な模様がある

- ▼田んぼの草取、苗に張ったクモの巣が良く見つかる。稲の間に丸い網を張り、目立つのはナガコガネグモ。黄色に黒のシマ模様が目立つ。仲間には、コガネ・コガタ・チュウガタ・ナガコガネ・ムシバミの5種類がいる。ジョロウグモも仲間だった時代もあったらしい。
- ▼作業小屋前の斜面に、ナガコガネグモの網があった。背中とお腹を同時に写真で撮れた。田んぼ沿いに歩くとカナブンやシオカラトンボが網にかかっていた。ということで、今回はコガネグモの特集。
- ▼クモは8本足で昆虫ではないが、クモの数は匹。網は「張・枚・面」と数える。トンボやカブトムシなどはグループが異なる節足動物。
- ▼人間にとってクモは益虫か、害虫か？ ハエや蚊、ダニやゴキブリたち、不快な害虫を網で捕える「家の守り神」。昆虫を捕まえるための毒はあっても、人間を害する毒はないらしい。しかし、外来のセアカコケクモ、在来のコマチグモには毒がある。要注意！！

- 今日の作業 ①田んぼ作業：田の草取り 三角田、四分割田
②畑作業：ダイコン植付準備、草取り
③ナガエの除去
- 次回の予定 ①多自然型水路の草刈、ヨシ・マコモ刈りなど

谷津の中で見つけたクモ、ナガコガネグモ、コガネグモと ジョロウグモ

ナガコガネグモの巣に捕まった
左：カナブン 右：シオカラトンボ

背面 ナガコガネグモ 腹面

青枠は腹部

赤枠内は頭と胸が
一体化した頭胸部
8本の足がある

コガネグモの腹面

下の4枚はジョロウグモ

コガネグモ 背面
上から三段目の
黒帯が太い

コガタコガネグモ 背面
三段目の黒帯が細い

⇐ ジョロウグモ
のみは小さい

腹面拡大⇒

背面

腹面

谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月20日（日）

作業場所

作業時間

9:00-12:00

天候・気温

晴



雨 36 °C



昆虫教室 野外観察中に
見つけたシュレーゲルアオガエル
アマガエルと違って
目の後ろに黒い筋がない

今日のイベント

- ①夏の昆虫教室に参加
手賀沼課／中央学院高校生物部

- ▼夏の昆虫教室に参加
生物部の教室で、ヤブヤンマ、ショウジョウトンボ、ウチワヤンマ、キアゲハ、ツマグロヒョウモン、ミドリシジミ、コムシジ、イチモンジセセリ、コチャバネセセリ、ミヤマカミキリ、リンゴカミキリ、カフトムシ、ヤマトタマシ、キロデントウ、ヨコツナサシガメ、キンカメムシ、ナナフシモドキ、オオスズメバチなど、谷津で見られる昆虫をクイズ形式で説明。
- ▼網と虫かごを持ち屋外で観察。
トンボやチョウ、カマキリにバッタ、その他を観察。最後は、10丁目側入口の梅林で、捕獲した昆虫たち全てを逃がして、昆虫教室は終了。

★観察した昆虫

トンボ

シオカラトンボ ♂♀
オオシオカラトンボ ♂♀
ノシメトンボ
ナツアカネ
チョウトンボ
ショウジョウトンボ
アリジゴク(ウスバカゲロウの幼虫)

ちょう

アオスジアゲハ
イチモンジチョウ
コミスジ
モンシロチョウ
モンキチョウ
キアゲハ
ウラギンシジミ
ヒメウラナミジャノメ

甲虫

カナブン
マメコガネ
コガネムシ
ハナムグリ
シテムシの仲間
オトシブミのゆりかご(巣)

カメムシ

クサギカメムシ
ハラビロヘリカメムシの幼虫
ニイニイゼミ
アオバハゴロモ
チュウゴクアミガサハゴロモ

その他の昆虫

ショウリョウバッタ
クマバッタモドキ
オオスズメバチ
カマキリの幼体
オオカマキリの卵のう
ハラビロカマキリの卵のう
ジャクガの仲間

クモの仲間

ナガコガネグモ
コガネグモ
ヤマトコマチグモの産卵室
キシダグモの仲間

その他

ミナミメダカ
ミスジマイマイ
ヒメタニシ
ヌマガエル
シュレーゲルアオガエル

ダイサギ

ガビチョウ：鳴声
ウグイス：鳴声

その他植物

クズ：花
ナヨクサフジ：花
ネムノキ：花は終わり
ヤマユリ：花も終わり
カントウヨメナ
ヘラオモダカ：花
ガガイモ：花
チダケサシ：花
ミズヒキ：花
フジカンゾウ：花

カラスウリの蕾

ガマ
サルノコシカケ

谷津ミュージアム 作業日誌	2026年7月22日（水）
作業場所  ★ホタル調査報告 No.2 気象条件：晴、30℃、微風 調査員：会員8名 発生数：92頭(四) メダカ池周辺：27 H・Aの里：6 私井通りまで：33 G側の右岸：25 イヌザクラ池：1 (参考) 谷頭部G練習場付近：約30(7/21)	作業時間 9:00-11:00 天候・気温 晴 曇 雨 38℃ ▼作業初めから37℃、風が殆どなく暑い。10分ほどで休憩、水分補給を十分とって、無理をせずマイペースで作業。いつもより早めの10時半ごろ終了。終了時の温度は38℃。車の温度計は41℃だった。 ▼夜はホタルの調査。7/15の70頭から少し増えて、92頭。今まで調査外の谷頭部でも、去年の観賞会でホタルを確認していたが、今年も7/21の長寿大学の観賞会で30頭ほど観察した。
今日の作業 ①多自然型水路の草刈、ヨシ・マコモ刈りなど ②草刈り：四分割田、田んぼ広場などの ③ナガエの除去	次回の予定 本日の続き ①多自然型水路、四分割田、田んぼ広場など草刈、ヨシ・マコモ刈りなど ②畑の草取りなど
ホタルの季節になったので、ホタルについての豆知識 ホタルにはゲンジボタルとヘイケボタルがいて、谷津にすんでいるのはヘイケボタル ゲンジボタルとヘイケボタルの違い： ゲンジ： 大きさは15mmほどで、水が流れる場所(川)に棲む 幼虫(ヤゴ)はカワニナという巻貝を食べる ヘイケ： 大きさは8mm位と小さい。あまり流れない水辺に棲む ヤゴはモノアラガイ、サカマキガイなどの巻貝を食べる ホタルは、夜みが飛び回って、草むらの上に停まっている♀を探す ホタルが光っているのは、お互いが分かるようにする合図です ホタルを見るときは、注意して下さい。懐中電灯で照らしてはいけません ホタルのエサについて ヤゴは、成虫になるまでに巻貝を20～25個位食べるとの報告がある <100匹のホタルは、最低でも2000個ぐらいの巻貝を食べる> ホタル1匹が生き残る確率は 1/200(0.5%) 谷津では、♂♀で400匹ほどのホタルがいるとして、巻貝を25個食べると <400×25=10000、10000の1/200で100万匹> 100万匹の巻貝がいないと、400頭のホタルの乱舞は見られない 水を張った田んぼや水辺には、モノアラガイやサカマキガイが 沢山いるので、ホタルのヤゴたちもエサに困らない ホタルのエサとなる巻貝にとって、セリは大切な植物 セリが生える所は流れが緩やか、巻貝の産卵に適している また、ホタルのヤゴにとってはエサありの隠れ家にもなる 水がある田んぼや湿地は、ホタルに限らず、トンボたちにとっても 生きものたちが、育ちって、生きていくための大切な場所 昔ながらの、水を張る田んぼを大切にしていきたいものです 乾田化した田んぼは、生きものたちが棲めない場所です ホタルの数え方 1頭、2頭・・・頭と数えるのは何故？ 諸説あり 英語圏では飼育する動物を head で数える ドイツでは 蝶狩り：狩りは 頭 で数える ※頭は、学問上の使い方で、1匹、2匹・・・でも良い	

谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月25日（土）

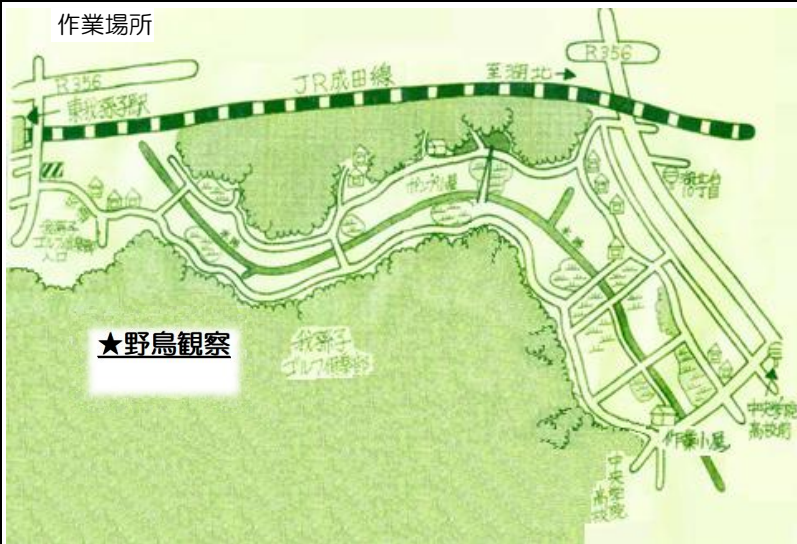
作業場所

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨 34℃



★野鳥観察

▼小屋裏田んぼなどでも、近隣の農家の田んぼにやや遅れて、稲の出穂がはじまった。今年は稲の分結した株が大きいようだ。秋の収穫が楽しみだ。

▼夜のホタル観賞会。去年は谷頭部のサクラの樹下付近のG側斜面で、夜咲くカラスウリの花が沢山見られたが、今年は草刈りの影響で殆ど見れなかった。去年の写真でレースのカーテンのような花を見てください。

今日の作業

- ①ヨシ刈り・マコモ刈り：多自然型水路際
- ②草刈り：作業小屋前、田んぼ広場池の道路側
- ③ナガエ除去：田んぼ広場池サクラの樹下など
- ④畑作業：草取り、植付準備

次回の予定

- ①草刈り、ヨシ刈り、マコモ刈りなど

谷津ミュージアムのカラスウリ

今年のカラスウリの花、残念ながら1週間ほどずれてしまいました。去年の写真でお楽しみください。大きい写真は、ほぼ卵の大きさのスイカのような緑色、黄色や赤い実です。＜赤い実は別の写真の合成です＞。カラスウリは夜咲く花、翌朝はしおれてしまいます。残念ながら今日の観賞会では見れませんでした。下の2枚は、去年撮影した白いレースのカーテンです。



谷津ミュージアム 作業日誌

2026年7月29日（水）

作業場所



手賀沼課と処理業者にて、
ホタルアカガエルの里で見つかった巣を除去。
安心して作業ができるようになった。一安心。

作業時間

9:00-11:00

天候・気温

晴 曇 雨 33℃

参加者

合計 5名

▼気温は33℃、作業小屋を吹き抜ける風がいつもより通って心地よい。作業小屋周辺の草刈り、四分割ピオトープの整備をする。
★アメリカシロヒトリ大量発生か？ 作業小屋の対岸、真向いのクワの木、特定外来ではないが厄介な蛾。作業小屋前のクワの木、枝の一部に葉が無く、枯れたように見える。クモが巣を張ったように見えるが、調べるとアメリカシロヒトリ(蛾)の幼虫の巣網と判明。幼虫が集団でサクラやカキ、クワの葉を糸で覆いつくして食い荒らし、樹を丸坊主にする。下記の写真。高い場所だが伐枝、幼虫駆除を検討したい。アメリカシロヒトリは無毒だが、気持ち悪い毛虫。

今日の作業

- ①草刈り：作業小屋周辺～三角田んぼ脇の歩行路
- ②ピオトープ点検・補修(水漏れ箇所)
- ③ナガエ除去

次回の予定

- ①草刈り
- ②畑作業

作業小屋付近の草刈

左：作業小屋側上流ガマ池前

中：作業小屋対岸散歩道

右：作業小屋横駐車場



アオオニグモ

枝の間に円網を張るが
普段は網の近くの
葉の住処に隠れている

クワの木に葉が無い
アメリカシロヒトリ幼虫の巣網



ヒメジウジナガカメムシ



網の近くの葉の住処

